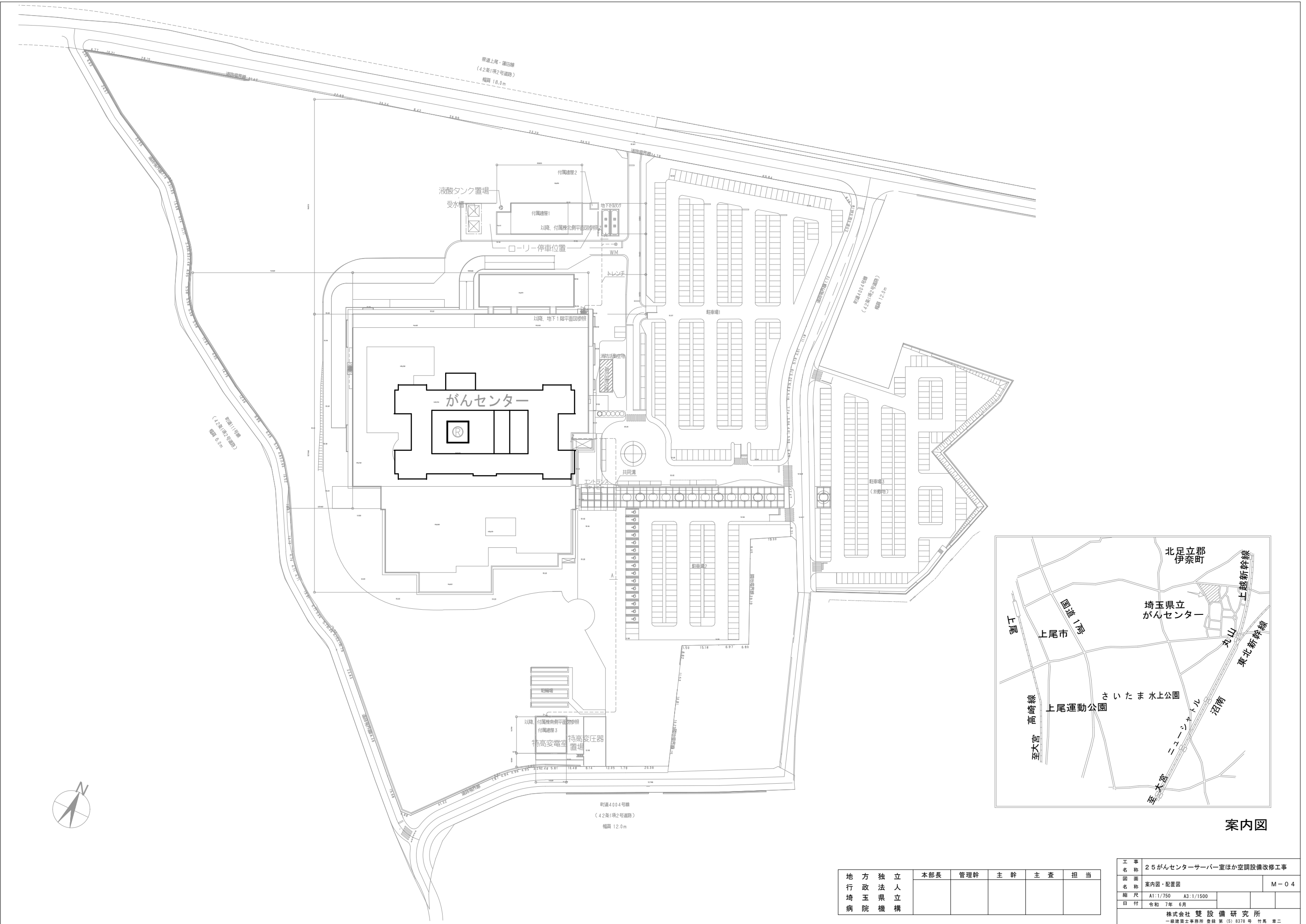


2 5 がんセンター病院棟 3 階サーバー室ほか空調設備改修工事 (工事名称はすべて上記名称に読み替えるものとする)

地方独立行政法人埼玉県立病院機構

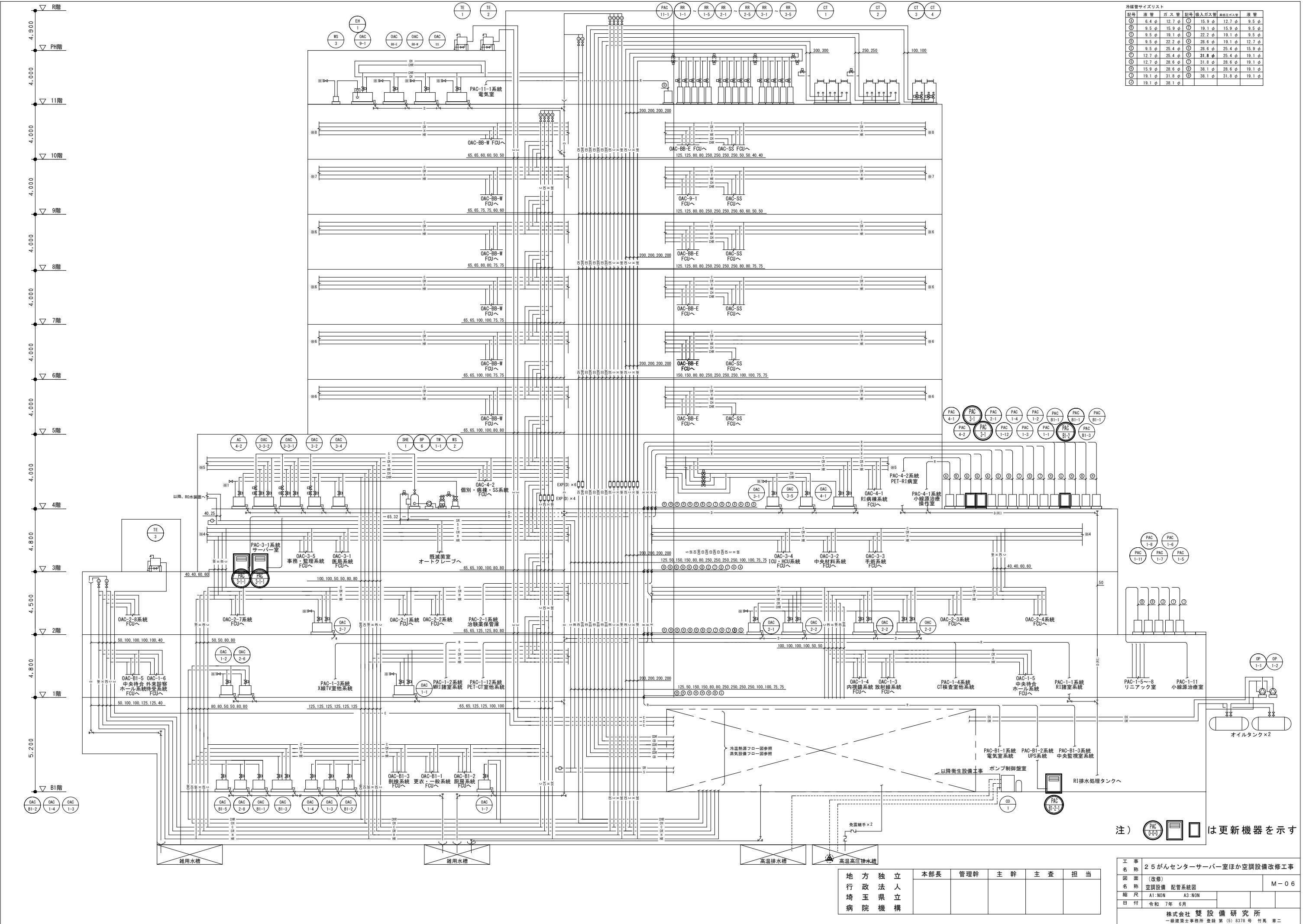
● 空気 調 和 設 備	① 設計温湿度 ② 総合試運転調整	(3) 特に騒音振動など周辺に甚大な影響のある工事については、原則として学校では学校運営に支障を与えない期間、その他の施設では施設管理者と打合せして設定すること。 (4) F F式温風暖房機の撤去・再取付、新規設置について F F式温風暖房機の一時的取外し、再取付、新規設置及び動作確認は、製造者又は製造者認定の代理店等に所属する「石油機器技術管理士」の登録を受けたもの（（一財）日本石油燃焼機器保守協会）が行い、記録を整備すること。なお、動作確認は、一時的取外し前、再取付け後の双方で行うこと。新規設置の場合は設置後に行うこと。	⑱ 空気熱源ヒートポンプ空調機	標準仕様書によるほか下記による。 (1) 圧縮機原動機の制御方式 ※回転数制御 ・ オンオフ制御 (2) 冷媒 H F C （ R 4 1 0 A、R 3 2又はR407 C ） (注1) R 4 1 0 Aを採用した場合、冷媒配管は機器の設計圧力を満足するものを使用すること。 (注2) R 3 2を採用した場合、冷媒配管の断熱材被覆銅管は難燃性のものを使用すること。 (3) 埼玉県グリーン調達推進方針で掲げる成績係数を満たす機器とする。	11 擬音装置 12 そ の 他	トイレブースに設置する。 衛生設備器具の適用等の必要ことは別途衛生設備器具表による。	2 洗面器等の排水管 3 満水試験継手 4 樹の適用	洗面器等に直結する排水管は、器具トラップより1サイズアップする。 3階以上にわたる排水立て管には、各階毎に次の継手を設ける。 ・掃除口付きソケット ※満水試験用掃除口ソケット 別紙表による。			
		○換気設備		1 長方形ダクト					※低圧ダクト（亜鉛鉄板製） 長辺の長さ1500mm以下 ※共板工法 ・ スライドオンフランジ工法 ・アングルフランジ工法 それ以外の部分 ※アングルフランジ工法 ・高圧1ダクト（亜鉛鉄板製） ・高圧2ダクト（亜鉛鉄板製） ・ステンレス製ダクト（・A区分 ※B区分） ・塩ビ製ダクト（・A区分 ※B区分）		
		○換気設備		2 円形ダクト					※スパイラルダクト（※亜鉛鉄板製 ・ ステンレス製） ・硬質塩化ビニル管（V U） ・耐火二層換気管 ※フレキシブルダクト（・保温付 ・ 保温無） (注)1 使用区分は図示による。		
		○換気設備		3 風量測定口					取付け箇所は、図示した箇所及び下記の箇所とする。 送風機吐出ダクト又は吸込ダクト、外気取入ダクト		
		○換気設備		4 チャンパー					(1) 内貼りを施すチャンパーの表示寸法は外法を示す。 (2) 消音内貼りしたチャンパーには、点検口を設けるものとし、点検口の大きさは下記のとおりとする。 ・300×300 ・300×500 ※400×600 ・550×750 (3) 外壁に面するガラリに直接取り付け付けるチャンパー及びホッパーは雨水が滞留しないようにする。		
		○換気設備		5 ダンパー					(1) 防煙ダンパー 復帰方式（※遠隔 ・ ） 定格入力DC24V、0.7A以下 (2) ピストンダンパー 復帰方式（※遠隔 ・ ）		
		○換気設備		6 多湿箇所の排気ダクト					(1) 排気ダクトのうち下記箇所は硬質塩化ビニル管（V U）（防火区画直通箇所は換気用耐火二層管）を使用できる。 ※浴室（シャワー室、脱衣室を含む） ・ (2) 水抜き管は（※厨房、浴室 ※結露水が滞留する部分 ・ ）の排気ダクトには設ける		
		○換気設備		7 保 温					下記のダクトの保温を行う。 ※全熱交換器用の隠ぺい部ダクト 仕様はN・（ロ）・X Iとする。 保温施工範囲は、給気用OAダクトは全て、また、排気用EAダクトは外壁より1mの部分とする。 ※（※厨房 ・ 湯沸室 ・ ）用の隠蔽ぺい部ダクト（仕様はh・（イ）・Ⅸとし範囲は図示による）		
		○換気設備		8 試運転調整					風量調整 ※する ・ しない 風量測定 ※する ・ しない 騒音の測定 ・する ※しない		
		● 空気 調 和 設 備		3 煙 道 4 煙 突 5 長方形ダクト 6 円形ダクト 7 風量測定口 8 チャンパー 9 吹出口及び吸込口ボックス 10 ダンパー ⑪ 配管材料					(1) 鉄板厚 （※3.2mm ・ 4.5mm ） (2) ばい煙濃度計 ※設ける ・ 設けない (3) ばいじん量測定口 ※設ける（測定口は80φとする） ・ 設けない	○排煙設備	○排煙設備
※低圧ダクト（亜鉛鉄板製） 長辺の長さ1500mm以下 ※共板工法 ・ スライドオンフランジ工法 ・アングルフランジ工法 それ以外の部分 ※アングルフランジ工法 ・高圧1ダクト（亜鉛鉄板製） ・高圧2ダクト（亜鉛鉄板製） ・ステンレス製ダクト（・A区分 ※B区分） ・塩ビ製ダクト（・A区分 ※B区分）	※スパイラルダクト（※亜鉛鉄板製 ・ ステンレス製） ・硬質塩化ビニル管（V U） ・換気用耐火二層管（大田認定品） ※フレキシブルダクト（・保温付 ・ 保温無） (注)1 使用区分は図示による。										
室内気流及びじんあいの測定 ・する ※しない 初期運転状態の記録 ※する ・ しない 工事対象範囲の既設機器運転状態の記録 ◎する ※しない	取付け箇所は、図示した箇所及び下記の箇所とする。 送風機吐出ダクト又は吸込ダクト、外気取入ダクト、空調機出口チャンパーの分岐ダクト										
(1) 内貼りを施すチャンパーの表示寸法は外法を示す。 (2) ダクト接続形の空気調和機等に取り付けるサブライチャンパー、レタンチャンパ及びダクト系で消音内貼りしたチャンパーには、点検口を設けるものとし点検口の大きさは下記のとおりとする。 ・300×300 ・300×500 ※400×600 ・550×750 (3) 外壁に面するガラリに直接取り付け付けるチャンパー及びホッパーは雨水が滞留しないようにする。	取付け箇所は、図示した箇所及び下記の箇所とする。 送風機吐出ダクト又は吸込ダクト、外気取入ダクト、空調機出口チャンパーの分岐ダクト										
※別途 ・ 本工事	取付け箇所は、図示した箇所及び下記の箇所とする。 送風機吐出ダクト又は吸込ダクト、外気取入ダクト、空調機出口チャンパーの分岐ダクト										
(1) 防煙ダンパー 復帰方式（※遠隔 ・ ） 定格入力DC24V、0.7A以下 (2) ピストンダンパー 復帰方式（※遠隔 ・ ）	取付け箇所は、図示した箇所及び下記の箇所とする。 送風機吐出ダクト又は吸込ダクト、外気取入ダクト、空調機出口チャンパーの分岐ダクト										
※別途 ・ 本工事	取付け箇所は、図示した箇所及び下記の箇所とする。 送風機吐出ダクト又は吸込ダクト、外気取入ダクト、空調機出口チャンパーの分岐ダクト										
(1) 防煙ダンパー 復帰方式（※遠隔 ・ ） 定格入力DC24V、0.7A以下 (2) ピストンダンパー 復帰方式（※遠隔 ・ ）	取付け箇所は、図示した箇所及び下記の箇所とする。 送風機吐出ダクト又は吸込ダクト、外気取入ダクト、空調機出口チャンパーの分岐ダクト										
※別途 ・ 本工事	取付け箇所は、図示した箇所及び下記の箇所とする。 送風機吐出ダクト又は吸込ダクト、外気取入ダクト、空調機出口チャンパーの分岐ダクト										
(1) 防煙ダンパー 復帰方式（※遠隔 ・ ） 定格入力DC24V、0.7A以下 (2) ピストンダンパー 復帰方式（※遠隔 ・ ）	取付け箇所は、図示した箇所及び下記の箇所とする。 送風機吐出ダクト又は吸込ダクト、外気取入ダクト、空調機出口チャンパーの分岐ダクト										
● 空気 調 和 設 備	① 配管材料	(1) 冷温水管 ※配管用炭素鋼鋼管（白） ・ (2) 冷却水管 ※配管用炭素鋼鋼管（白） ・ (3) プライン管 ※配管用炭素鋼鋼管（黒） ・ (4) 冷媒管 ※断熱材被覆銅管 (保温厚mm ガス管 ※20以上 ・ 10以上 液管 ・ 20以上 ※10以上) (5) ドレン管（屋外） ※硬質塩化ビニル管V P（カラー） ・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ドレン管（屋内） ※保温機能付空調用ドレン管（150×AC100mm）相当品） ・耐火二層管V P（F D P S－1） ・配管用炭素鋼鋼管（白） ・硬質塩化ビニル管V P (消防協議事項： ただし、保温機能付空調用ドレン管は、水圧1mを超える配管には使用しない。 (6) 油管 ※配管用炭素鋼鋼管（黒） ・ (7) 蒸気管 給気管 ※配管用炭素鋼鋼管（黒） ・ 還 管 ※圧力配管用炭素鋼鋼管（黒） Sch40 ・ ステンレス鋼管 (8) 膨張管、空気抜き管及び膨張タンクよりボイラー等への補給水管 ※配管用炭素鋼鋼管（白） ・ (注) 樹脂管には熱伸縮による破損を防止する措置を講ずること。	●自動制御	○自動制御	○有り ※無し 図示による	○自動制御	○自動制御	○自動制御	○自動制御	○自動制御	○自動制御
		(1) 防煙ダンパー 復帰方式（※遠隔 ・ ） 定格入力DC24V、0.7A以下 (2) ピストンダンパー 復帰方式（※遠隔 ・ ）			※天井取付（・スリット形 ※スイング形） ・壁取付 （・スリット形 ・ スイング形）						
		(1) 防煙ダンパー 復帰方式（※遠隔 ・ ） 定格入力DC24V、0.7A以下 (2) ピストンダンパー 復帰方式（※遠隔 ・ ）			開放及び復帰方式 ※ワイヤー式 ・ 電気式（遠隔操作 ・ 不要 ・ 要）						
		(1) 防煙ダンパー 復帰方式（※遠隔 ・ ） 定格入力DC24V、0.7A以下 (2) ピストンダンパー 復帰方式（※遠隔 ・ ）			建築設備定期検査業務基準書（（一財）日本建築設備・昇降機センター）の排煙風量の検査方法に準ずる。						
		(1) 防煙ダンパー 復帰方式（※遠隔 ・ ） 定格入力DC24V、0.7A以下 (2) ピストンダンパー 復帰方式（※遠隔 ・ ）			※中央監視制御装置 図示による						
		(1) 防煙ダンパー 復帰方式（※遠隔 ・ ） 定格入力DC24V、0.7A以下 (2) ピストンダンパー 復帰方式（※遠隔 ・ ）			使用する電線及びケーブルは、原則としてEM電線またはEMケーブルとする。 屋外・屋内露出の電線は、図面に特記のない限り金属管配線とする。 天井内隠ぺい電線は、図面に特記のない限りケーブル配線とする。						
		(1) 防煙ダンパー 復帰方式（※遠隔 ・ ） 定格入力DC24V、0.7A以下 (2) ピストンダンパー 復帰方式（※遠隔 ・ ）			JIS B 2061（自動水栓）による電気開閉式とし、小便器（※一体形・分離形）とする。						
		(1) 防煙ダンパー 復帰方式（※遠隔 ・ ） 定格入力DC24V、0.7A以下 (2) ピストンダンパー 復帰方式（※遠隔 ・ ）			・小便器 ※全部ストール形 ・一部ストール形 手すり（・本工事 ※別途工事） ・洗面器 ※自動水栓（・全部 ※一部） ・レバー式水栓（一部） ・シャワー ※サーモスタット式 ・ミキシング式 ※スライドバー ・フック ※止水機能付節水形シャワーヘッド ・鏡 ※600×800（耐食鏡） ・傾斜鏡（・照明無 ・ 照明付）						
		(1) 防煙ダンパー 復帰方式（※遠隔 ・ ） 定格入力DC24V、0.7A以下 (2) ピストンダンパー 復帰方式（※遠隔 ・ ）			(1) 器具付属止水栓は ※ドライバー式 ・ ハンドル式 (2) 水抜き栓を使用する場合は、水栓は固定コマ式とする。						
		(1) 防煙ダンパー 復帰方式（※遠隔 ・ ） 定格入力DC24V、0.7A以下 (2) ピストンダンパー 復帰方式（※遠隔 ・ ）			※AC100V ・ 乾電池等 ・ 自己発電						
● 空気 調 和 設 備	12 弁 類 13 温 度 計 14 圧 力 計 15 瞬間流量計 16 油面制御装置 17 冷却塔	規格はJ I S又はJ Vとし、指定なきものは5 K、それ以外は図示及び共通仕様書による。 また、銅管用伸縮管継手の種類は図示による。 取付部は下記による。 ※熱源機器の冷温水管（出入口共）、冷却水管（出入口共） ※空気調和機の冷温水管（出入口共） ※ダクト接続形空気調和機のサブライチャンパー、レタンダクト、外気取入ダクト及びレタンチャンパー ※冷温水ヘッダー（注）及び各選り管 ※熱交換器の温水管（出入口） ・ 取付部は下記による。 ※熱源機器の冷温水管（出入口共）、冷却水管（出入口共） ※空気調和機の冷温水管（出入口共） ※冷温水ヘッダー（注）及び各選り管 ※熱交換器の温水管（出入口） ・ 瞬間流量計はビート管方式によるもので止水コック付とし、型式及び取付部は下記による。なお、着脱部の指示部は（※1個 ・ 個）付属とする。 ・熱源機器の冷温水管、冷却水管の出入口どちらかに（※固定形 ・ 着脱形）を設ける。 ・空気調和機の冷温水管の出入口どちらかに（※固定形 ・ 着脱形）を設ける。 ※注又は選どちらかの冷温水ヘッダーの各接続管へ（※固定形 ・ 着脱形）を設ける。 制御盤には（※給油ポンプ制御 ※満減油警報 ・ 遠隔警報 ・ 電磁弁制御 ・ 返油ポンプ制御 ）の端子を設ける。 なお、フロートスイッチ部と制御装置の配管・配線は製造者標準仕様とする。 ※直交流式 ・ 向流型 ※レジオネラ属殺菌剤等の自動薬剤注入装置 ※自動ブロー装置 ・ 補給水は、水道水とし、補給水接続管部分に清掃用の水栓を分岐して設ける。	○衛生器具設備	○衛生器具設備	1 小便器用節水装置	JIS B 2061（自動水栓）による電気開閉式とし、小便器（※一体形・分離形）とする。	○衛生器具設備	○衛生器具設備	○衛生器具設備	○衛生器具設備	○衛生器具設備
		規格はJ I S又はJ Vとし、指定なきものは5 K、それ以外は図示及び共通仕様書による。 また、銅管用伸縮管継手の種類は図示による。 取付部は下記による。 ※熱源機器の冷温水管（出入口共）、冷却水管（出入口共） ※空気調和機の冷温水管（出入口共） ※ダクト接続形空気調和機のサブライチャンパー、レタンダクト、外気取入ダクト及びレタンチャンパー ※冷温水ヘッダー（注）及び各選り管 ※熱交換器の温水管（出入口） ・ 取付部は下記による。 ※熱源機器の冷温水管（出入口共）、冷却水管（出入口共） ※空気調和機の冷温水管（出入口共） ※冷温水ヘッダー（注）及び各選り管 ※熱交換器の温水管（出入口） ・ 瞬間流量計はビート管方式によるもので止水コック付とし、型式及び取付部は下記による。なお、着脱部の指示部は（※1個 ・ 個）付属とする。 ・熱源機器の冷温水管、冷却水管の出入口どちらかに（※固定形 ・ 着脱形）を設ける。 ・空気調和機の冷温水管の出入口どちらかに（※固定形 ・ 着脱形）を設ける。 ※注又は選どちらかの冷温水ヘッダーの各接続管へ（※固定形 ・ 着脱形）を設ける。 制御盤には（※給油ポンプ制御 ※満減油警報 ・ 遠隔警報 ・ 電磁弁制御 ・ 返油ポンプ制御 ）の端子を設ける。 なお、フロートスイッチ部と制御装置の配管・配線は製造者標準仕様とする。 ※直交流式 ・ 向流型 ※レジオネラ属殺菌剤等の自動薬剤注入装置 ※自動ブロー装置 ・ 補給水は、水道水とし、補給水接続管部分に清掃用の水栓を分岐して設ける。			2 バリアフリー対応	・小便器 ※全部ストール形 ・一部ストール形 手すり（・本工事 ※別途工事） ・洗面器 ※自動水栓（・全部 ※一部） ・レバー式水栓（一部） ・シャワー ※サーモスタット式 ・ミキシング式 ※スライドバー ・フック ※止水機能付節水形シャワーヘッド ・鏡 ※600×800（耐食鏡） ・傾斜鏡（・照明無 ・ 照明付）					
		規格はJ I S又はJ Vとし、指定なきものは5 K、それ以外は図示及び共通仕様書による。 また、銅管用伸縮管継手の種類は図示による。 取付部は下記による。 ※熱源機器の冷温水管（出入口共）、冷却水管（出入口共） ※空気調和機の冷温水管（出入口共） ※ダクト接続形空気調和機のサブライチャンパー、レタンダクト、外気取入ダクト及びレタンチャンパー ※冷温水ヘッダー（注）及び各選り管 ※熱交換器の温水管（出入口） ・ 取付部は下記による。 ※熱源機器の冷温水管（出入口共）、冷却水管（出入口共） ※空気調和機の冷温水管（出入口共） ※冷温水ヘッダー（注）及び各選り管 ※熱交換器の温水管（出入口） ・ 瞬間流量計はビート管方式によるもので止水コック付とし、型式及び取付部は下記による。なお、着脱部の指示部は（※1個 ・ 個）付属とする。 ・熱源機器の冷温水管、冷却水管の出入口どちらかに（※固定形 ・ 着脱形）を設ける。 ・空気調和機の冷温水管の出入口どちらかに（※固定形 ・ 着脱形）を設ける。 ※注又は選どちらかの冷温水ヘッダーの各接続管へ（※固定形 ・ 着脱形）を設ける。 制御盤には（※給油ポンプ制御 ※満減油警報 ・ 遠隔警報 ・ 電磁弁制御 ・ 返油ポンプ制御 ）の端子を設ける。 なお、フロートスイッチ部と制御装置の配管・配線は製造者標準仕様とする。 ※直交流式 ・ 向流型 ※レジオネラ属殺菌剤等の自動薬剤注入装置 ※自動ブロー装置 ・ 補給水は、水道水とし、補給水接続管部分に清掃用の水栓を分岐して設ける。			3 衛生器具付属水栓	(1) 器具付属止水栓は ※ドライバー式 ・ ハンドル式 (2) 水抜き栓を使用する場合は、水栓は固定コマ式とする。					
		規格はJ I S又はJ Vとし、指定なきものは5 K、それ以外は図示及び共通仕様書による。 また、銅管用伸縮管継手の種類は図示による。 取付部は下記による。 ※熱源機器の冷温水管（出入口共）、冷却水管（出入口共） ※空気調和機の冷温水管（出入口共） ※ダクト接続形空気調和機のサブライチャンパー、レタンダクト、外気取入ダクト及びレタンチャンパー ※冷温水ヘッダー（注）及び各選り管 ※熱交換器の温水管（出入口） ・ 取付部は下記による。 ※熱源機器の冷温水管（出入口共）、冷却水管（出入口共） ※空気調和機の冷温水管（出入口共） ※冷温水ヘッダー（注）及び各選り管 ※熱交換器の温水管（出入口） ・ 瞬間流量計はビート管方式によるもので止水コック付とし、型式及び取付部は下記による。なお、着脱部の指示部は（※1個 ・ 個）付属とする。 ・熱源機器の冷温水管、冷却水管の出入口どちらかに（※固定形 ・ 着脱形）を設ける。 ・空気調和機の冷温水管の出入口どちらかに（※固定形 ・ 着脱形）を設ける。 ※注又は選どちらかの冷温水ヘッダーの各接続管へ（※固定形 ・ 着脱形）を設ける。 制御盤には（※給油ポンプ制御 ※満減油警報 ・ 遠隔警報 ・ 電磁弁制御 ・ 返油ポンプ制御 ）の端子を設ける。 なお、フロートスイッチ部と制御装置の配管・配線は製造者標準仕様とする。 ※直交流式 ・ 向流型 ※レジオネラ属殺菌剤等の自動薬剤注入装置 ※自動ブロー装置 ・ 補給水は、水道水とし、補給水接続管部分に清掃用の水栓を分岐して設ける。			4 自動水栓類の電源	※AC100V ・ 乾電池等 ・ 自己発電					
		規格はJ I S又はJ Vとし、指定なきものは5 K、それ以外は図示及び共通仕様書による。 また、銅管用伸縮管継手の種類は図示による。 取付部は下記による。 ※熱源機器の冷温水管（出入口共）、冷却水管（出入口共） ※空気調和機の冷温水管（出入口共） ※ダクト接続形空気調和機のサブライチャンパー、レタンダクト、外気取入ダクト及びレタンチャンパー ※冷温水ヘッダー（注）及び各選り管 ※熱交換器の温水管（出入口） ・ 取付部は下記による。 ※熱源機器の冷温水管（出入口共）、冷却水管（出入口共） ※空気調和機の冷温水管（出入口共） ※冷温水ヘッダー（注）及び各選り管 ※熱交換器の温水管（出入口） ・ 瞬間流量計はビート管方式によるもので止水コック付とし、型式及び取付部は下記による。なお、着脱部の指示部は（※1個 ・ 個）付属とする。 ・熱源機器の冷温水管、冷却水管の出入口どちらかに（※固定形 ・ 着脱形）を設ける。 ・空気調和機の冷温水管の出入口どちらかに（※固定形 ・ 着脱形）を設ける。 ※注又は選どちらかの冷温水ヘッダーの各接続管へ（※固定形 ・ 着脱形）を設ける。 制御盤には（※給油ポンプ制御 ※満減油警報 ・ 遠隔警報 ・ 電磁弁制御 ・ 返油ポンプ制御 ）の端子を設ける。 なお、フロートスイッチ部と制御装置の配管・配線は製造者標準仕様とする。 ※直交流式 ・ 向流型 ※レジオネラ属殺菌剤等の自動薬剤注入装置 ※自動ブロー装置 ・ 補給水は、水道水とし、補給水接続管部分に清掃用の水栓を分岐して設ける。			5 暖房便座	(1) JIS A 4422（温水洗浄便座）とする。 (2) 機能種別 ※温水洗浄 ※脱臭 ・ 温風乾燥 ・ トイレ室内暖房 (3) 温水洗浄加熱方式 ※瞬間式 ・ 貯湯式 (4) 使用流体は、飲料用水道水とする。 (5) リモコン ・ AC100V ・ 乾電池等 ※自己発電					
		規格はJ I S又はJ Vとし、指定なきものは5 K、それ以外は図示及び共通仕様書による。 また、銅管用伸縮管継手の種類は図示による。 取付部は下記による。 ※熱源機器の冷温水管（出入口共）、冷却水管（出入口共） ※空気調和機の冷温水管（出入口共） ※ダクト接続形空気調和機のサブライチャンパー、レタンダクト、外気取入ダクト及びレタンチャンパー ※冷温水ヘッダー（注）及び各選り管 ※熱交換器の温水管（出入口） ・ 取付部は下記による。 ※熱源機器の冷温水管（出入口共）、冷却水管（出入口共） ※空気調和機の冷温水管（出入口共） ※冷温水ヘッダー（注）及び各選り管 ※熱交換器の温水管（出入口） ・ 瞬間流量計はビート管方式によるもので止水コック付とし、型式及び取付部は下記による。なお、着脱部の指示部は（※1個 ・ 個）付属とする。 ・熱源機器の冷温水管、冷却水管の出入口どちらかに（※固定形 ・ 着脱形）を設ける。 ・空気調和機の冷温水管の出入口どちらかに（※固定形 ・ 着脱形）を設ける。 ※注又は選どちらかの冷温水ヘッダーの各接続管へ（※固定形 ・ 着脱形）を設ける。 制御盤には（※給油ポンプ制御 ※満減油警報 ・ 遠隔警報 ・ 電磁弁制御 ・ 返油ポンプ制御 ）の端子を設ける。 なお、フロートスイッチ部と制御装置の配管・配線は製造者標準仕様とする。 ※直交流式 ・ 向流型 ※レジオネラ属殺菌剤等の自動薬剤注入装置 ※自動ブロー装置 ・ 補給水は、水道水とし、補給水接続管部分に清掃用の水栓を分岐して設ける。			6 大便器洗浄弁・洗浄用タンク	器具表又は下記の場合を除き、※節水Ⅰ型・節水Ⅱ型とする。 ・洗浄弁操作方式は、※手動式・電気開閉式（※センサー式・タッチスイッチ式） ・上層階で使用する大便器洗浄弁は、現地給水管の流動圧を確認し、必要に応じ低圧形とする。 ※共栓なしとする。 ・ 共栓付とする。					
		規格はJ I S又はJ Vとし、指定なきものは5 K、それ以外は図示及び共通仕様書による。 また、銅管用伸縮管継手の種類は図示による。 取付部は下記による。 ※熱源機器の冷温水管（出入口共）、冷却水管（出入口共） ※空気調和機の冷温水管（出入口共） ※ダクト接続形空気調和機のサブライチャンパー、レタンダクト、外気取入ダクト及びレタンチャンパー ※冷温水ヘッダー（注）及び各選り管 ※熱交換器の温水管（出入口） ・ 取付部は下記による。 ※熱源機器の冷温水管（出入口共）、冷却水管（出入口共） ※空気調和機の冷温水管（出入口共） ※冷温水ヘッダー（注）及び各選り管 ※熱交換器の温水管（出入口） ・ 瞬間流量計はビート管方式によるもので止水コック付とし、型式及び取付部は下記による。なお、着脱部の指示部は（※1個 ・ 個）付属とする。 ・熱源機器の冷温水管、冷却水管の出入口どちらかに（※固定形 ・ 着脱形）を設ける。 ・空気調和機の冷温水管の出入口どちらかに（※固定形 ・ 着脱形）を設ける。 ※注又は選どちらかの冷温水ヘッダーの各接続管へ（※固定形 ・ 着脱形）を設ける。 制御盤には（※給油ポンプ制御 ※満減油警報 ・ 遠隔警報 ・ 電磁弁制御 ・ 返油ポンプ制御 ）の端子を設ける。 なお、フロートスイッチ部と制御装置の配管・配線は製造者標準仕様とする。 ※直交流式 ・ 向流型 ※レジオネラ属殺菌剤等の自動薬剤注入装置 ※自動ブロー装置 ・ 補給水は、水道水とし、補給水接続管部分に清掃用の水栓を分岐して設ける。			7 掃除流し	※共栓なしとする。 ・ 共栓付とする。					
		規格はJ I S又はJ Vとし、指定なきものは5 K、それ以外は図示及び共通仕様書による。 また、銅管用伸縮管継手の種類は図示による。 取付部は下記による。 ※熱源機器の冷温水管（出入口共）、冷却水管（出入口共） ※空気調和機の冷温水管（出入口共） ※ダクト接続形空気調和機のサブライチャンパー、レタンダクト、外気取入ダクト及びレタンチャンパー ※冷温水ヘッダー（注）及び各選り管 ※熱交換器の温水管（出入口） ・ 取付部は下記による。 ※熱源機器の冷温水管（出入口共）、冷却水管（出入口共） ※空気調和機の冷温水管（出入口共） ※冷温水ヘッダー（注）及び各選り管 ※熱交換器の温水管（出入口） ・ 瞬間流量計はビート管方式によるもので止水コック付とし、型式及び取付部は下記による。なお、着脱部の指示部は（※1個 ・ 個）付属とする。 ・熱源機器の冷温水管、冷却水管の出入口どちらかに（※固定形 ・ 着脱形）を設ける。 ・空気調和機の冷温水管の出入口どちらかに（※固定形 ・ 着脱形）を設ける。 ※注又は選どちらかの冷温水ヘッダーの各接続管へ（※固定形 ・ 着脱形）を設ける。 制御盤には（※給油ポンプ制御 ※満減油警報 ・ 遠隔警報 ・ 電磁弁制御 ・ 返油ポンプ制御 ）の端子を設ける。 なお、フロートスイッチ部と制御装置の配管・配線は製造者標準仕様とする。 ※直交流式 ・ 向流型 ※レジオネラ属殺菌剤等の自動薬剤注入装置 ※自動ブロー装置 ・ 補給水は、水道水とし、補給水接続管部分に清掃用の水栓を分岐して設ける。			8 排水器具用ダム継手	※使用できる ・ 使用できない					
		規格はJ I S又はJ Vとし、指定なきものは5 K、それ以外は図示及び共通仕様書による。 また、銅管用伸縮管継手の種類は図示による。 取付部は下記による。 ※熱源機器の冷温水管（出入口共）、冷却水管（出入口共） ※空気調和機の冷温水管（出入口共） ※ダクト接続形空気調和機のサブライチャンパー、レタンダクト、外気取入ダクト及びレタンチャンパー ※冷温水ヘッダー（注）及び各選り管 ※熱交換器の温水管（出入口） ・ 取付部は下記による。 ※熱源機器の冷温水管（出入口共）、冷却水管（出入口共） ※空気調和機の冷温水管（出入口共） ※冷温水ヘッダー（注）及び各選り管 ※熱交換器の温水管（出入口） ・ 瞬間流量計はビート管方式によるもので止水コック付とし、型式及び取付部は下記による。なお、着脱部の指示部は（※1個 ・ 個）付属とする。 ・熱源機器の冷温水管、冷却水管の出入口どちらかに（※固定形 ・ 着脱形）を設ける。 ・空気調和機の冷温水管の出入口									



案内図

地方独立行政法人埼玉県立病院機構	本部長	管理幹	主 幹	主 査	担 当

工 事 名 称	25がんセンターサーバー室ほか空調設備改修工事				
図 面 名 称	案内図・配置図				M-04
縮 尺	A1:1/750	A3:1/1500			
日 付	令和 7年 6月				
株式会社 雙 設 備 研 究 所 一級建築士事務所 登録 第 (5) 8378 号 竹馬 章二					

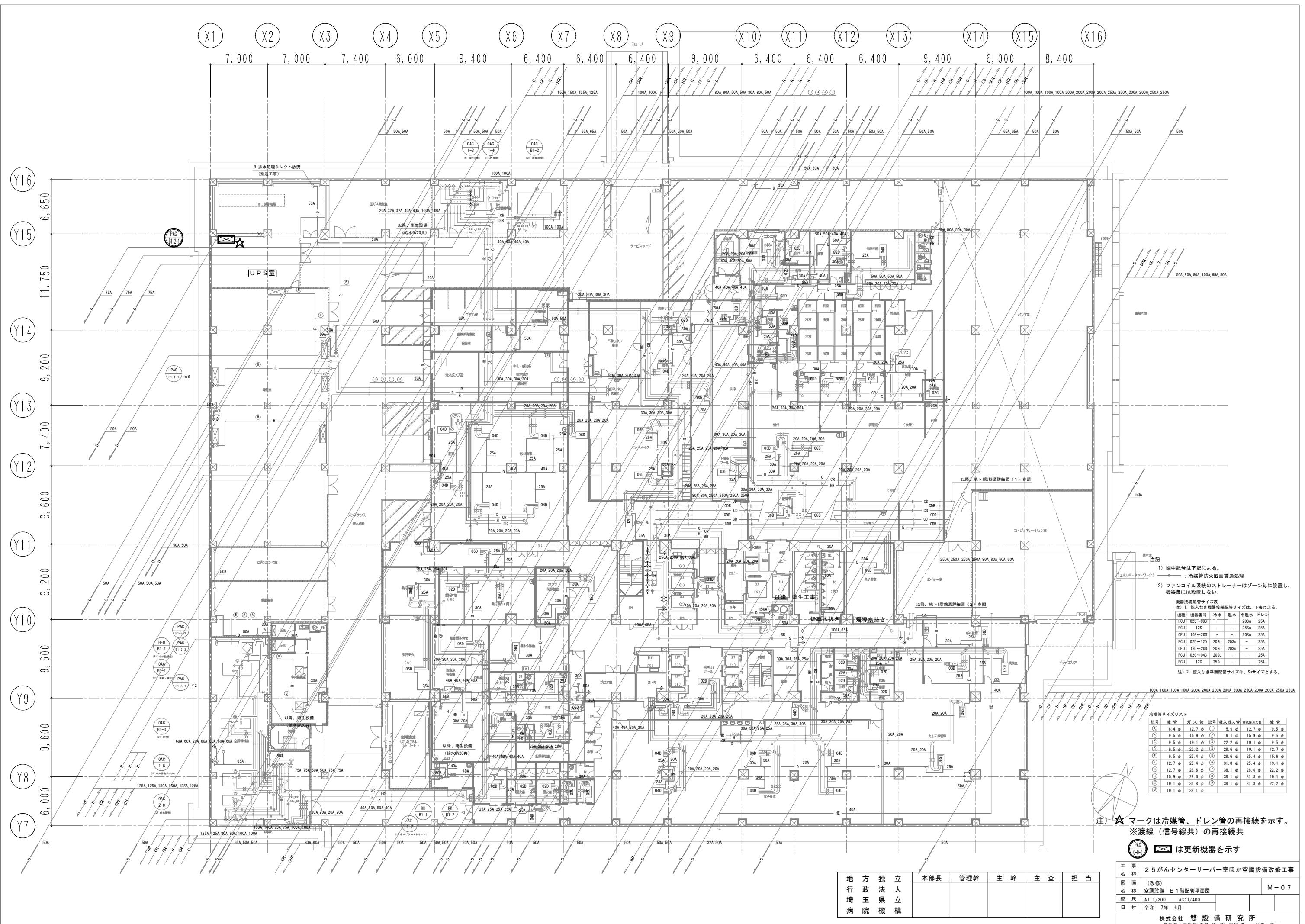


冷媒管サイズリスト					
記号	液管	ガス管	記号	液管	ガス管
①	6.4 φ	12.7 φ	①	15.9 φ	12.7 φ
②	9.5 φ	15.9 φ	②	19.1 φ	15.9 φ
③	9.5 φ	19.1 φ	③	22.2 φ	19.1 φ
④	9.5 φ	22.2 φ	④	28.6 φ	19.1 φ
⑤	9.5 φ	25.4 φ	⑤	28.6 φ	25.4 φ
⑥	12.7 φ	25.4 φ	⑥	31.8 φ	25.4 φ
⑦	12.7 φ	28.6 φ	⑦	31.8 φ	28.6 φ
⑧	15.9 φ	28.6 φ	⑧	38.1 φ	28.6 φ
⑨	19.1 φ	31.8 φ	⑨	38.1 φ	31.8 φ
⑩	19.1 φ	38.1 φ			

注) は更新機器を示す

地方独立行政法人埼玉県立病院機構	本部長	管理幹	主幹	主査	担当
------------------	-----	-----	----	----	----

工事名称	25がんセンターサーバー室ほか空調設備改修工事		
図面名称	(改修) 空調設備 配管系統図		
縮尺	A1: NON	A3: NON	M-06
日付	令和 7年 6月		
株式会社 雙設備研究所 一級建築士事務所 登録 第 (5) 8378 号 竹馬 章二			



注記

1) 図中記号は下記による。
冷媒管防火区画貫通処理

2) ファンコイル系統のストレーナーはゾーン毎に設置し、機器毎には設置しない。

機器接続配管サイズ表

注) 1. 記入なき機器接続配管サイズは、下表による。
2. 記入なき平面配管サイズは、Suサイズとする。

機器	機器番号	冷水	温水	冷温水	ドレン
FCU	02S~08S	-	-	20Su	25A
FCU	12S	-	-	25Su	25A
CFU	10S~20S	-	-	20Su	25A
FCU	02D~12D	20Su	20Su	-	25A
CFU	13D~20D	20Su	20Su	-	25A
FCU	02C~04C	20Su	-	-	25A
FCU	12C	25Su	-	-	25A

冷媒管サイズリスト

記号	液管	ガス管	記号	吸入ガス管	吐出ガス管	液管
①	6.4φ	12.7φ	①	15.9φ	12.7φ	9.5φ
②	9.5φ	15.9φ	②	19.1φ	15.9φ	9.5φ
③	9.5φ	19.1φ	③	22.2φ	19.1φ	9.5φ
④	9.5φ	22.2φ	④	28.6φ	19.1φ	12.7φ
⑤	9.5φ	25.4φ	⑤	28.6φ	25.4φ	15.9φ
⑥	12.7φ	25.4φ	⑥	31.8φ	25.4φ	19.1φ
⑦	12.7φ	28.6φ	⑦	38.1φ	28.6φ	22.2φ
⑧	15.9φ	28.6φ	⑧	38.1φ	31.8φ	19.1φ
⑨	19.1φ	31.8φ	⑨	38.1φ	31.8φ	22.2φ
⑩	19.1φ	38.1φ				

注) ☆マークは冷媒管、ドレン管の再接続を示す。
※渡線（信号線共）の再接続共

☆は更新機器を示す

地方独立行政法人 埼玉県立病院機構	本部長	管理幹	主幹	主査	担当
----------------------	-----	-----	----	----	----

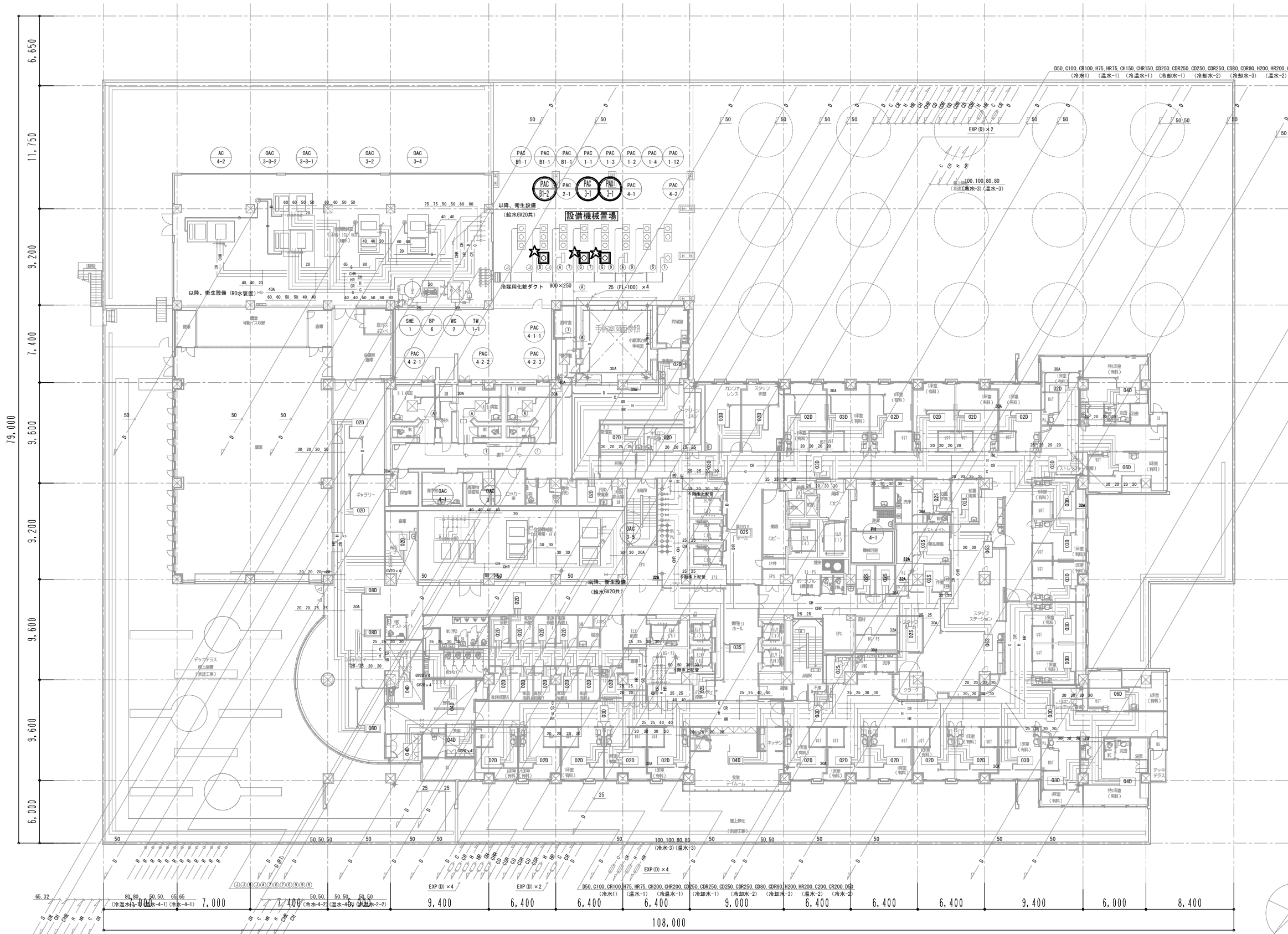
工事名称	25号館センターサーバー室ほか空調設備改修工事		
図面名称	(改修) 空調設備 B1階配管平面図	M-07	
縮尺	A1:1/200	A3:1/400	
日付	令和 7年 6月		
株式会社 雙設備研究所 一級建築士事務所 登録 第 (5) 8378 号 竹馬 幸二			



 は更新機器を示す

工事 名称	25号がんセンターサーバー室ほか空調設備改修工事		
図面 名称	(改修) 空調設備 3階配管平面図		M-08
縮尺	A1:1/200	A3:1/400	
日付	令和 7年 6月		
株式会社 雙 設 備 研 究 所 一級建築士事務所 登録 第 (乙) 第 378 号 竹 尾 重 二			

Y16
Y15
Y14
Y13
Y12
Y11
Y10
Y9
Y8
Y7



注記
1) 図中記号は下記による。
冷媒管防火区画貫通処理
2) ファンコイル系統のストレーナーはゾーン毎に設置し、機器毎には設置しない。

機器接続配管サイズ表
注) 1. 記入なき機器接続配管サイズは、下表による。
2. 記入なき平面配管サイズは、Suサイズとする。

機種	機種番号	冷水	温水	冷温水	ドレン
FCU	025~085	-	-	20Su	25A
FCU	125	-	-	25Su	25A
FCU	105~205	-	-	20Su	25A
FCU	020~120	20Su	20Su	-	25A
FCU	130~200	20Su	20Su	-	25A
FCU	020~040	20Su	-	-	25A
FCU	120	25Su	-	-	25A

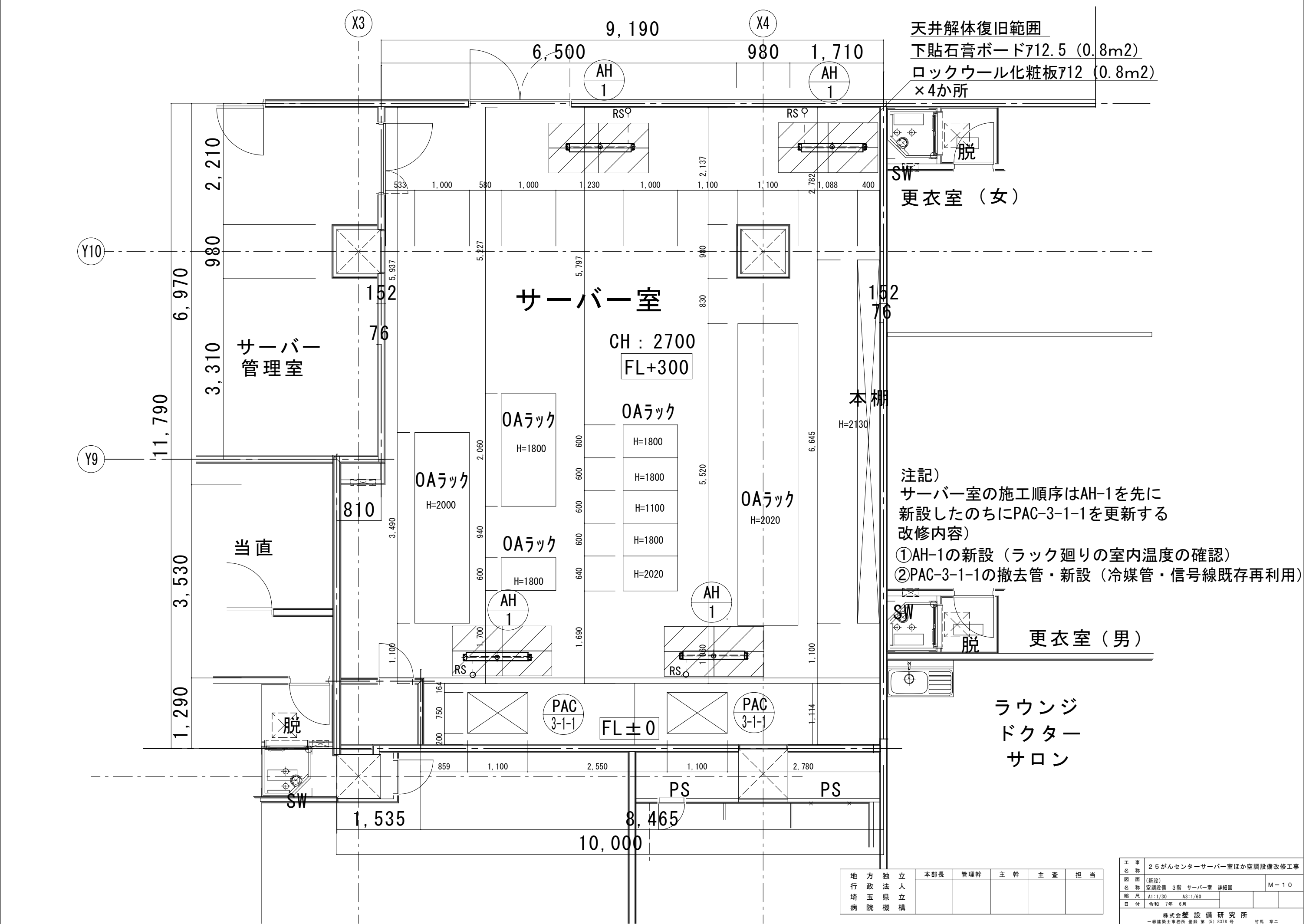
冷媒管サイズリスト

記号	液管	ガス管	記号	吸入ガス管	高圧送ガス管	液管
①	6.4 φ	12.7 φ	①	15.9 φ	12.7 φ	9.5 φ
②	9.5 φ	15.9 φ	②	19.1 φ	15.9 φ	9.5 φ
③	9.5 φ	19.1 φ	③	22.2 φ	19.1 φ	9.5 φ
④	9.5 φ	22.2 φ	④	28.6 φ	19.1 φ	12.7 φ
⑤	9.5 φ	25.4 φ	⑤	28.6 φ	25.4 φ	15.9 φ
⑥	12.7 φ	25.4 φ	⑥	31.8 φ	25.4 φ	19.1 φ
⑦	12.7 φ	28.6 φ	⑦	38.1 φ	28.6 φ	22.2 φ
⑧	15.9 φ	28.6 φ	⑧	38.1 φ	31.8 φ	19.1 φ
⑨	19.1 φ	31.8 φ	⑨	38.1 φ	31.8 φ	22.2 φ
⑩	19.1 φ	38.1 φ	-	-	-	-

注) ☆ マークは冷媒管の再接続を示す。
※ 渡線 (信号線共) の再接続共
PAC 3-0-0 は更新機器を示す
室外機から実長 1 m 分のラッキングを更新する。

地 方 独 立 人	本部長	管理幹	主 幹	主 査	担 当
行 政 玉 果 立					
埼 玉 県 立					
病 院 機 構					

工 事 名 称	2 5 がんセンターサーバー室ほか空調設備改修工事		
図 面 名 称	(改修) 空調設備 4 階配管平面図		M-09
縮 尺	A1:1/200	A3:1/400	
日 付	令和 7 年 6 月		
株式会社 雙 設 備 研 究 所 一級建築士事務所 登録 第 (5) 8378 号 竹馬 章二			



天井解体復旧範囲
下貼石膏ボード712.5 (0.8m2)
ロックウール化粧板712 (0.8m2)
×4か所

更衣室 (女)

注記)
サーバー室の施工順序はAH-1を先に
新設したのちにPAC-3-1-1を更新する
改修内容)
①AH-1の新設 (ラック廻りの室内温度の確認)
②PAC-3-1-1の撤去管・新設 (冷媒管・信号線既存再利用)

更衣室 (男)

ラウンジ
ドクター
サロン

地 方 独 立 本 部 管 主 主 担	方 政 法 人 部 長 理 幹 幹 査 当	場 玉 果 立 機 構
---------------------	-----------------------	-------------

工 事 名 称	25 がんセンターサーバー室ほか空調設備改修工事		
図 面 名 称	(新設) 空調設備 3階 サーバー室 詳細図	M-10	
縮 尺	A1:1/30	A3:1/60	
日 付	令和 7年 6月		
株式会社 設備研究所 一級建築士事務所 登録 第 (5) 8378 号 竹馬 啓二			